

一括穴の作成チュートリアル

一括穴の作成_チュートリアル.zip



一括穴の作成_概要

🔧 主な機能

- 入力された座標値を利用した一括穴の作成
- 対象面の選択、基準座標系の指定ができる
- 座標系、単位系の設定ができる

⚙️ 業務効果

- 繰り返して作成する穴を簡単に作成することができる
- 穴ウィザード規格の穴を作成して業務の効率性を向上させる

🎯 レッスン目標：レッスンを真似しながら一括穴の作成の使用方法を学ぶ

一括穴の作成 ?

✓ ✕

位置入力

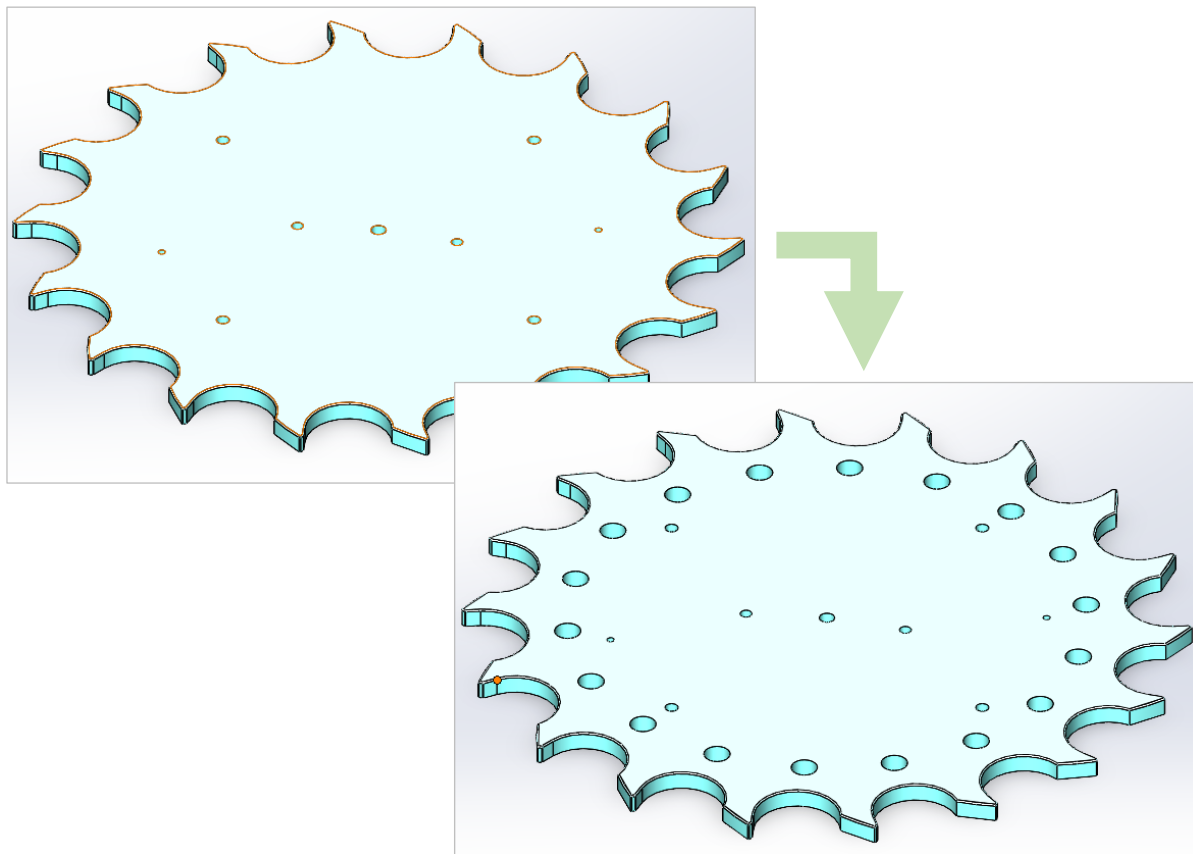
機能案内 ^
この機能は2D座標リストを利用して同時に同一名の穴を作成する機能です。位置座標をファイルを通して入力した後、OKを実行すると、自動で穴の種類が選択できる編集モードに転換します

対象面の選択 ^
面<1>

座標基準 ^
座標系1

穴の位置入力 ^
入力座標の単位系
mm
ファイル選択

-170.410000 mm, -30.050000 mm
-170.410000 mm, 30.050000 mm
-149.850000 mm, -86.520000 mm

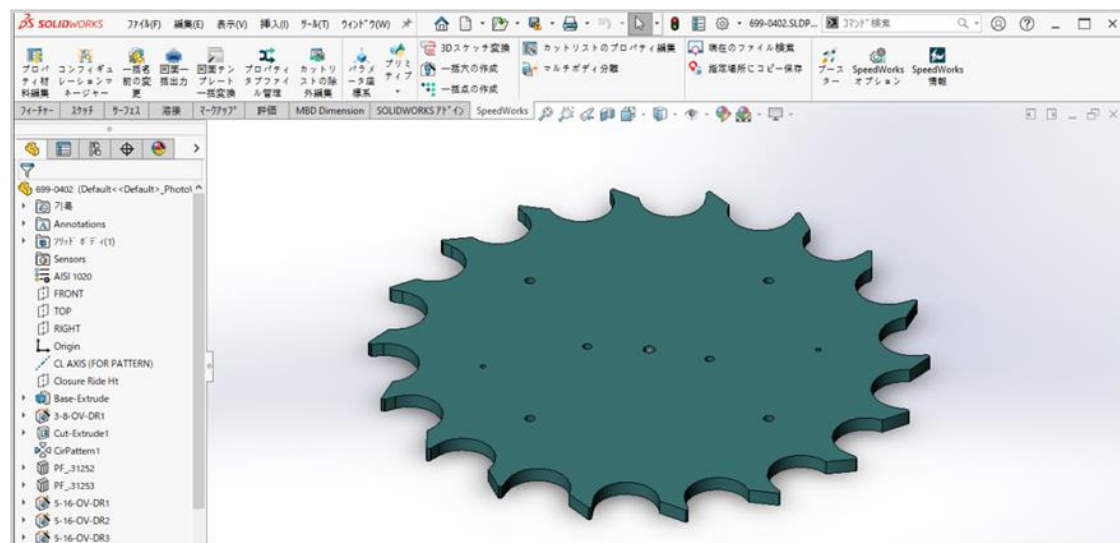


一括穴の作成_例題のファイルを開く

① 添付された例題中699-0402.SLDPRT ファイルを実行します。

② [SpeedWorks]タブ- [一括穴の作成] ボタンをクリックしてツールを実行します。

名前	更新日時	種類	サイズ
699-0402.SLDPRT	2021/05/17 12:12	SOLIDWORKS Part...	342 KB
Hole_Cordi.txt	2020/07/29 10:51	テキストドキュメント	1 KB



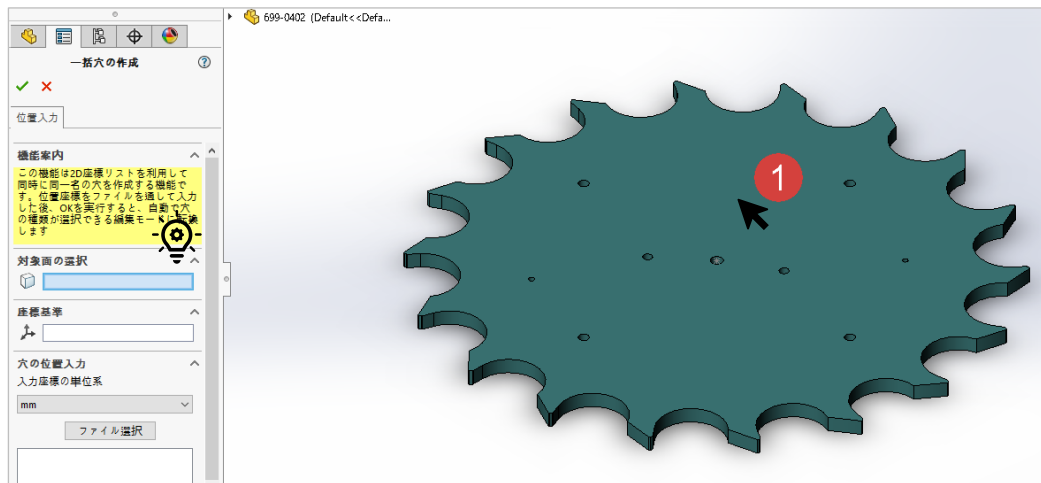
※例題ファイルは、SpeedWorksホームページのお客サポート
資料室 (<http://www.speedworks.info>) でダウンロードできます。

赤色の(1)で表示した部分を説明に沿って直接行います。
黒の四角形(1)で表示した部分は追加説明及び参考事項です。

一括穴の作成_対象面の選択

赤色の(1)で表示した部分を説明に沿って直接行います。
 黒の四角形(2)で表示した部分は追加説明及び参考事項です。

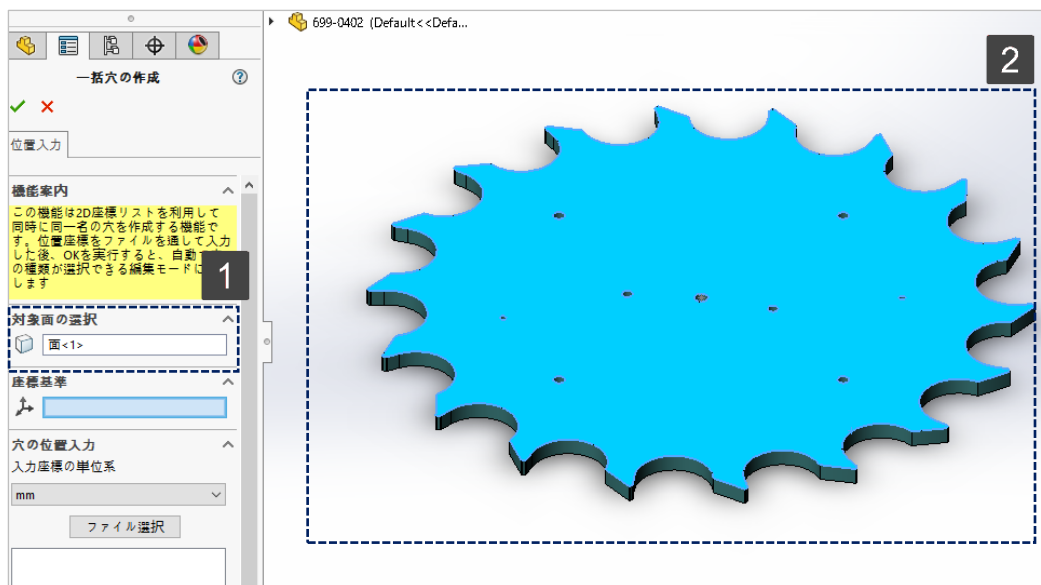
① [対象面の選択] 項目が活性化されている状態で穴が作成される面を選択します。



☞ 一括穴の作成を実行する際、対象面の選択項目が自動で活性化されます。

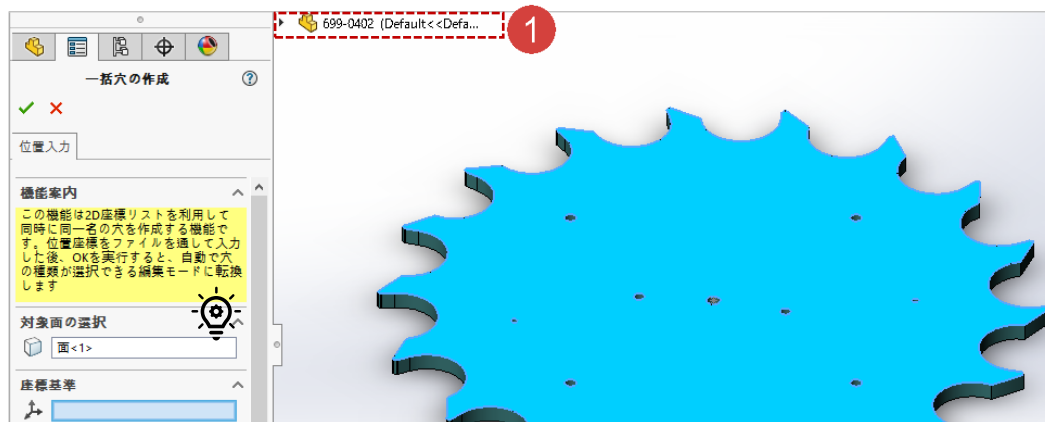
① 選択された対象面の名前が表示されます。

② 選択された対象面の色が強調されて表示されます。



① [座標基準]項目が活性化されている状態で
 [フライアウトツール]をダブルクリックします。

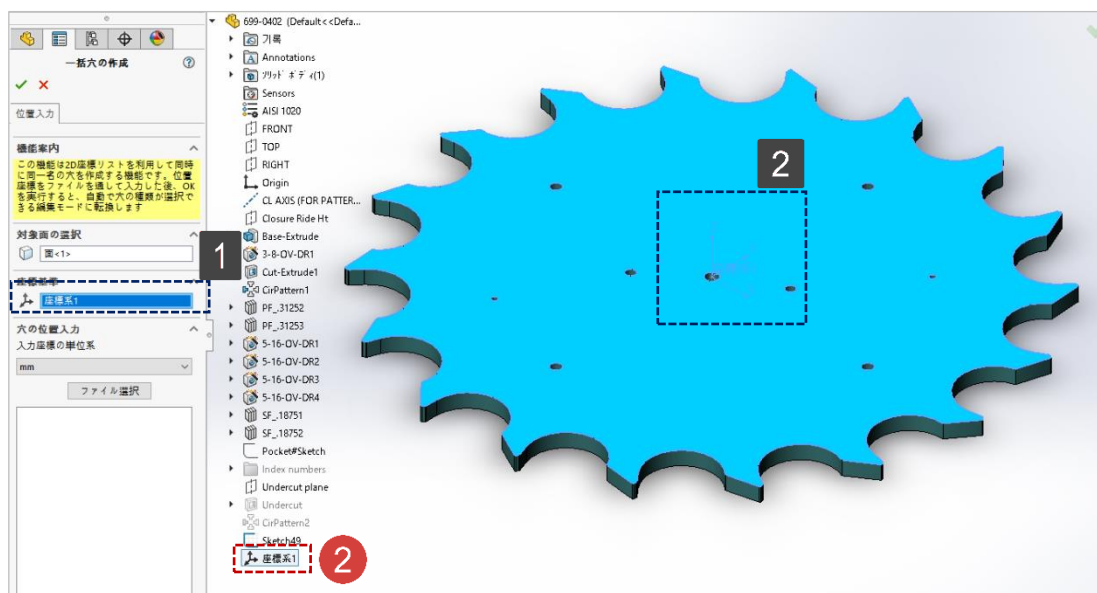
② '座標系1'を選択します。



☞ 対象面の選択後、座標の基準項目が自動で
 活性化されます。

① 選択された座標系の名前が表示されます。

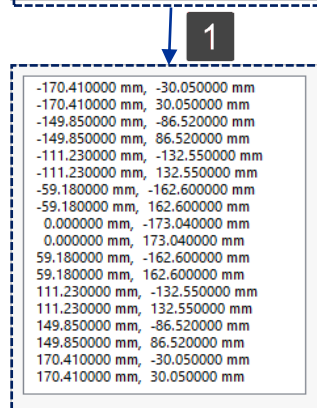
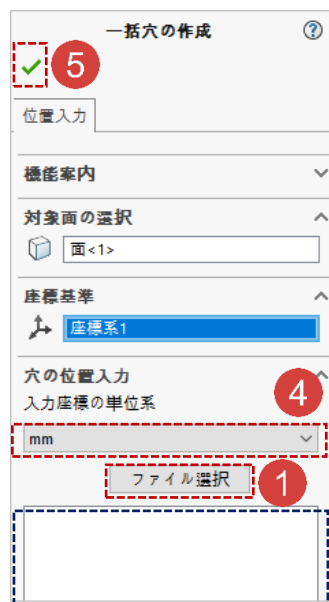
② 対象面の上に座標系が表示されます。



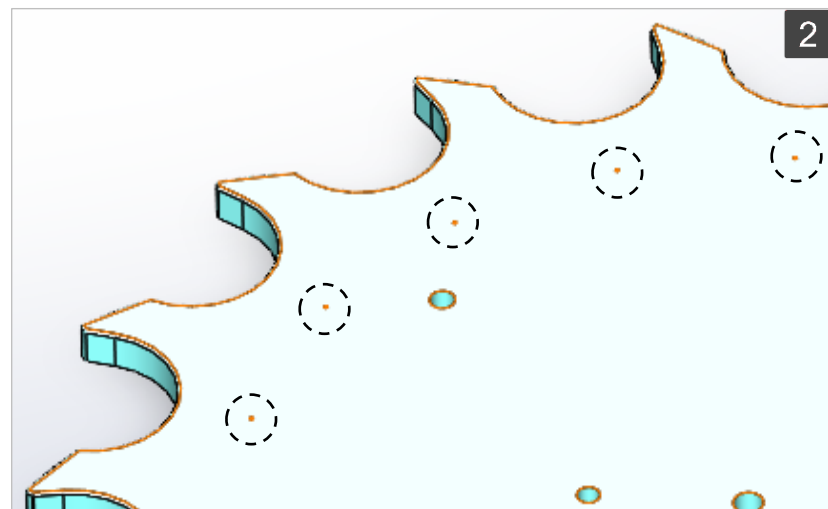
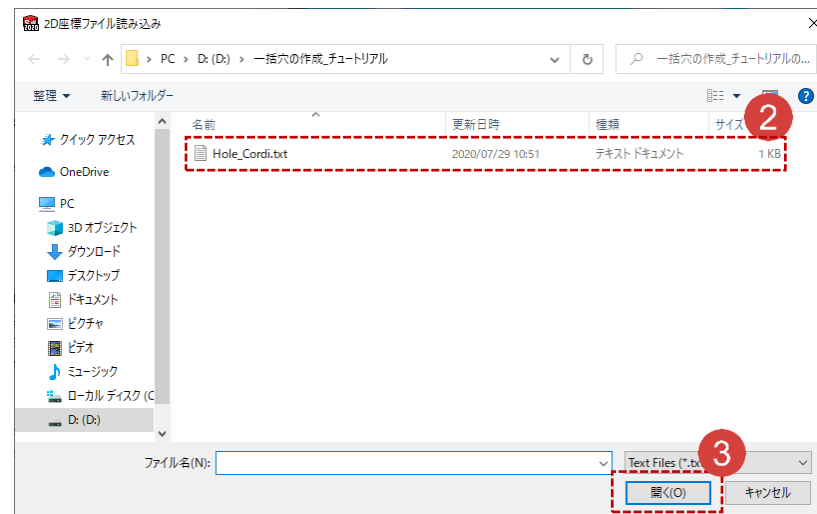
一括穴の作成_穴の位置入力

赤色の(1)で表示した部分を説明に沿って直接行います。
黒の四角形(2)で表示した部分は追加説明及び参考事項です。

- 1 [ファイル選択] ボタンをクリックします。
- 2 Hole_Cordi.txt ファイルを選択します。
- 3 [開く] ボタンをクリックして座票のファイルを指定します。
- 4 データが作成された単位系を基準に選択します。
[入力座標の単位系] で 'mm' 選択します。
- 5 [OK] ボタンをクリックします。[OK] ボタンをクリックすると、通知ウィンドウが活性化され、以後の作業が行えるように穴ウィザードが活性化されます。



- 1 2D座標ファイルを読み込むと、[ファイル選択] の下のボックスの中に座標値が表示されます。
- 2 一括穴の作成のOKボタンをクリックすると、デフォルト穴に作成されます。



一括穴の作成_穴の種類の修正

赤色の(1)で表示した部分を説明に沿って直接行います。
 黒の四角形(1)で表示した部分は追加説明及び参考事項です。

① 穴の仕様ウィンドウの [OK] ボタンをクリックします。
 [OK] ボタンをクリックすると穴ウィザードが自動で実行されます。

② 穴タイプの項目を設定します。

[穴タイプ]: 直線タブ

[標準規格]: Ansi Metric

[タイプ]: ねじ穴

③ 穴の仕様の項目を設定します。

[サイズ]: M10x1.0

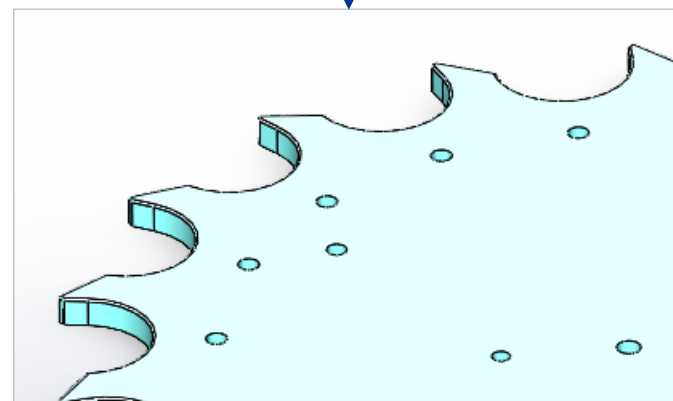
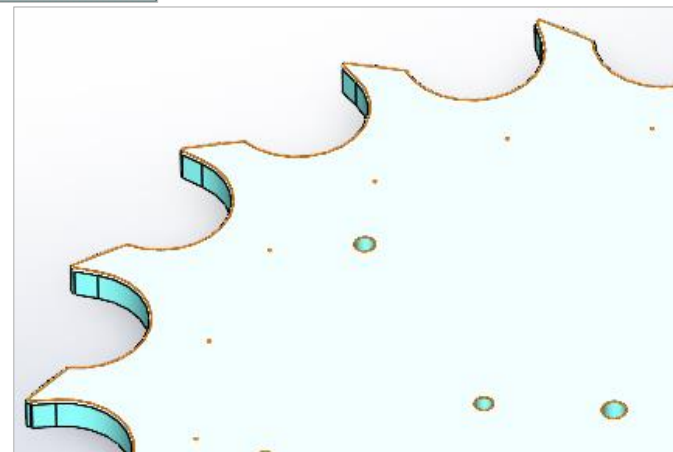
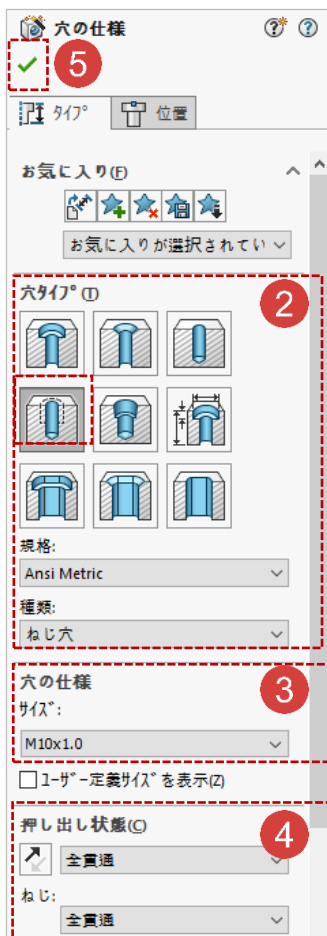
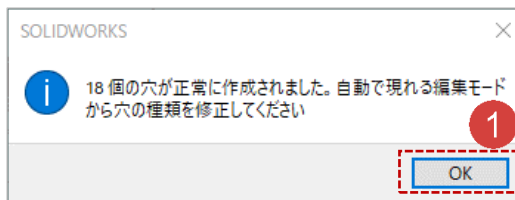
④ 押し出し状態の項目を設定します。

[押し出し状態]: 全貫通

[ねじ山]: 全貫通

⑤ [OK] ボタンをクリックします。

① 修正事項がすべての穴に一括的に反映されていることを確認することができます。



一括穴の作成_フィーチャー編集

赤色の(1)で表示した部分を説明に沿って直接行います。
 黒の四角形(1)で表示した部分は追加説明及び参考事項です。

① 新しく作成されたフィーチャー [BaseHole] フィーチャーを選択し、マウス右クリックします。

② [フィーチャー編集] ボタンをクリックします。

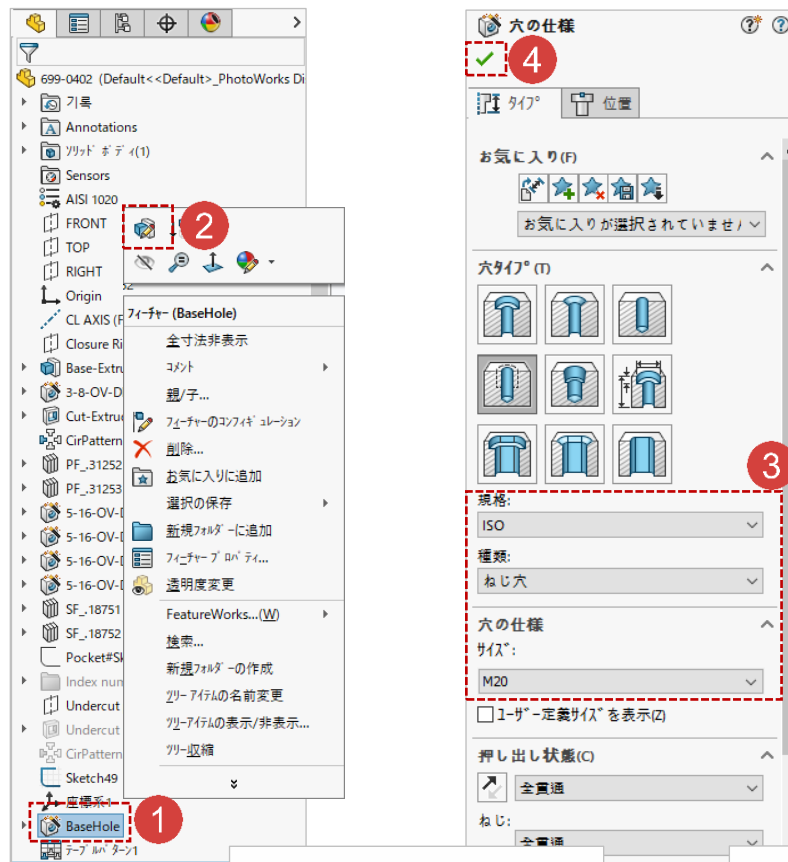
③ 標準規格、サイズの項目値を変更します。

[標準規格]: ISO

[サイズ]: M20

[タイプ]: ねじ穴

④ [OK] ボタンをクリックします。



☞ 一括作成された穴はフィーチャーとして管理されます。

① 修正事項がすべての穴に一括的に反映されていることを確認することができます。

